

# メヌエット

ハハハヒ ハ ハ ッ レ レ ッ ッ ッ ッ ッレ ッ レ ロ ッ

ッ ッ ッ ハ チ レ ㊦ ㊦ ㊦ ハ チ レ ㊦ ㊦ ㊦ ハ チ ハ レ ッ ハ チ レ チ

レ ㊦ レ ロ レ レ レ ハ レ ハ レ レ レ ㊦ レ ロ レ レ レ ハ レ

ハ レ ハハハヒ ハ ハ ッ レ レ ッ ッ ッ ッ ッレ ッレ ロ ッ

ッ ッ ッ ッ ッ ロ ハハハハハ ッ ロ ハハハハハ ッ ロ ッ ハ チ ッ ロ ハロ

ハ ハ Fine ッレチ ㊦ ハロ ッ ッレ ㊦ チレレ ッ ッ ッ ロ ハロ ッ ッレチ ㊦ ハ ハ

チハ ㊦ チ チレ ッ ハ ㊦ チレ ッ ッ ッ ロ ハ ロ ッレレ ッ ッ ッ ロ

ハ レ ッ D.C

(注) D. C から一番最初に戻り、くり返しせずに Fine まで演奏します。

## (練習上の注意)

この曲はト長調なのですが、尺八運指上、ハ長調に移調してあります。図 a (甲のハから乙のハに移るとき) と図 b (甲のツから乙のレに移るとき) 共にホイントの位置を下げます。スタッカートの練習で、スラーの付いたスタッカートとスラーのないスタッカートを区別して練習します。

図 a

図 b

## 記号表

### 休符

全休符

二分休符

四分休符

八分休符

十六分休符

以上の休符はそれぞれ、右に書いてある音符と同じだけの長さの休みを表わします。

### 特殊な演奏の表記

#### ☆スタッカート

音符の長さを半分にし、同じ長さの休符をはさんで演奏します。

#### ☆グリッサンド

出発点と到達点の間のすべての音を次々と切れ目なく演奏します。

#### ☆トリル

ピッチを上下に揺らすようにします。

#### ☆オクターヴァ

記号が上についている時は記符より1オクターヴ高く、下についている時は記符より1オクターヴ低く演奏します。

### 小節の進行順序

#### ☆反復記号

記号にはさまれた部分を二回演奏します。

A → B → C → D → C → D

#### ☆ヴォルタ

1 回目は1 のところ、2 回目は2 のところを演奏します。

A → B → C → D → A → B → C → E

#### ☆ダ・カーポ (D. C.)

曲の頭に戻り、フィーネ (Fine または ㊦) のところで終わります。

A → B → A

#### ☆コーダ

㊦ という記号のところから、Coda に飛び、そこで終わります。

A → B → A → C

#### ☆ダル・セーニョ (D. S.)

㊦ のあるところまで戻り、フィーネ (Fine または ㊦) のところで終わります。

A → B → C → B

記号表は、91、95 ページにもありますので、参照してください。